

GXのチャンスを最大化する 石狩市の産業づくり

石狩市企画政策部
企業連携推進課
課長 加藤 純



石狩市の概要



面積	722.42km ² （南北約70km）
人口	約 57,000人
交通	石狩湾新港までは札幌駅から車で約30分



昭和47年に着手した「石狩湾新港地域開発」により、北海道の流通拠点として発展



石狩湾新港地域

開発規模 3,022ha 立地企業760社／就労人口2万人超

札幌駅から 15km / 30分

札幌駅

北海道を代表する産業拠点 石狩湾新港地域

ISHIKARI



石狩市が目指す地産地活

環境



経済
地域活性化

再エネの地産地活を推進し、
先導的な“GX”の推進地域を目指す
#Green Transformation

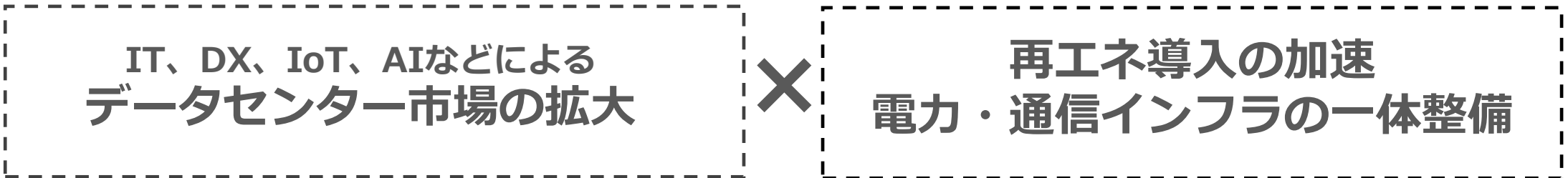
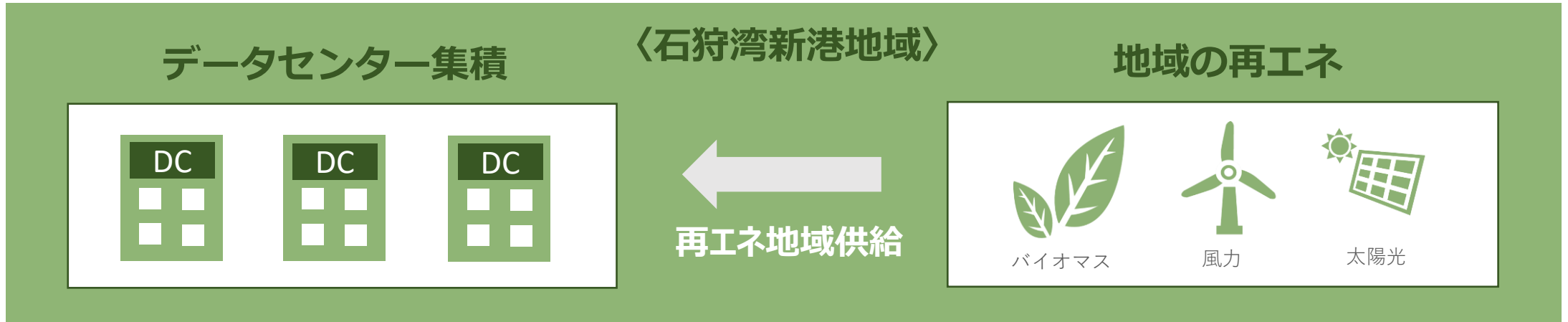
脱炭素地域の実現＝産業及び地域の成長・発展



「REゾーン」構想

REゾーンを中心とする石狩湾新港地域全景 (令和6年現在)



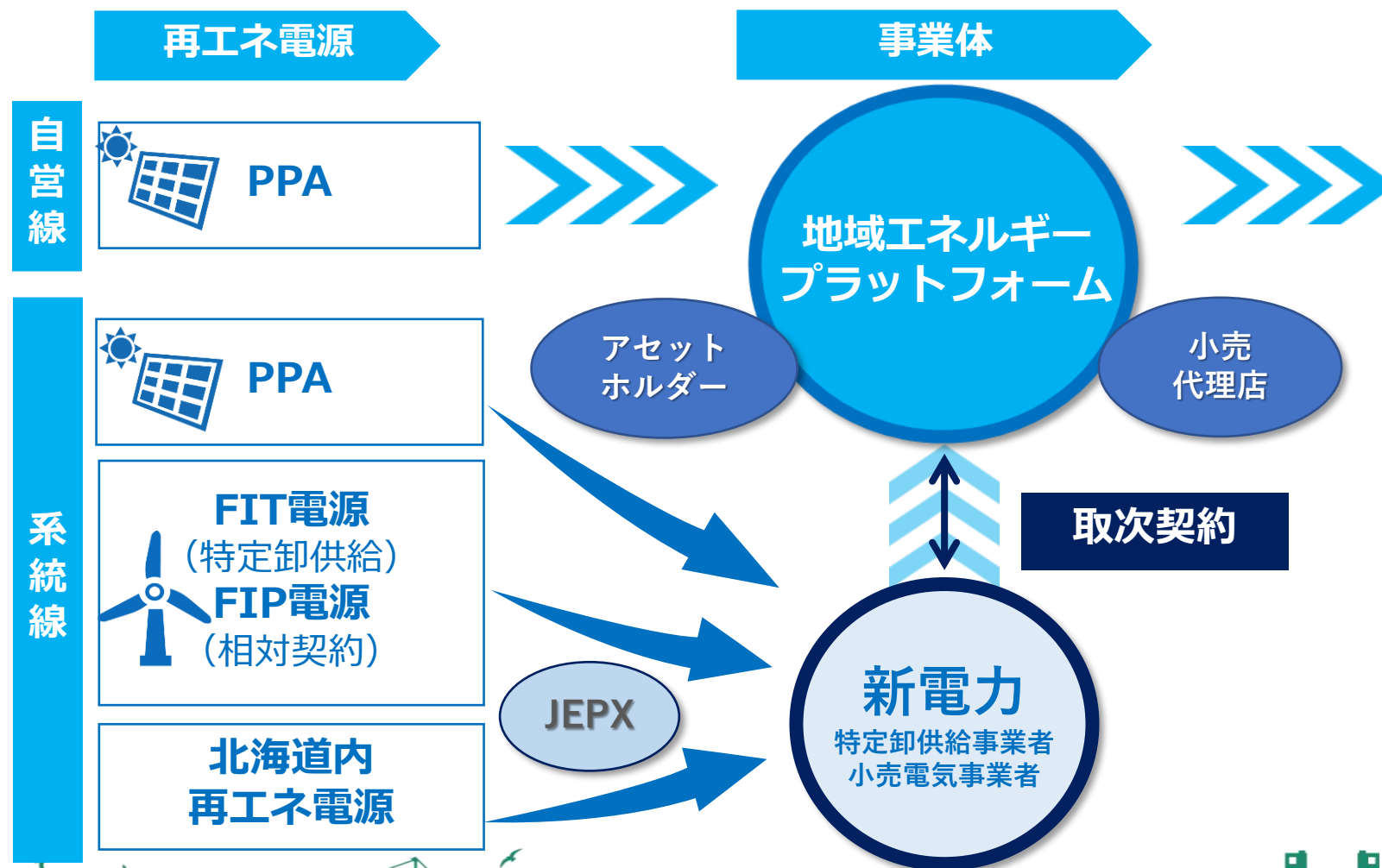


石狩市への脱炭素型データセンターの集積が、
GX2040ビジョンにあるワットビット連携のモデルケースに



「REゾーン」構想

地域再エネ電力供給スキーム ※検討中



REゾーン実現を支えるのが太陽光発電

DC事業者が求めているのは

1 「高価な再エネ」ではなく「安価なカーボンフリー電源」

✓ REゾーンに立地するデータセンターは、自前の太陽光発電設備を設置している

2 地域のレジリエンス向上により、電源立地のメリットを市民へ

✓ オンサイト電源は、地域のエネルギー自給率と災害への対応力を向上させる

✓ 電源立地のメリットを市民にわかりやすく示さなければ、地域共生は進まない



「REゾーン」構想



- ✓ 2011年11月進出
 - ✓ 国内企業で初めてガバメントクラウドに条件付き※で認定
 - ✓ 生成AI向けGPU基盤へ 約1,000億円の投資を計画しており、経済産業省から約500億円の助成
- ※2025年度末までに技術要件を満たすことを前提とした条件付き



- ✓ 生成AIの開発需要に対応するため、工期が短く安価なコンテナ型DCを整備中
- ✓ 今後も順次増設予定



「REゾーン」構想

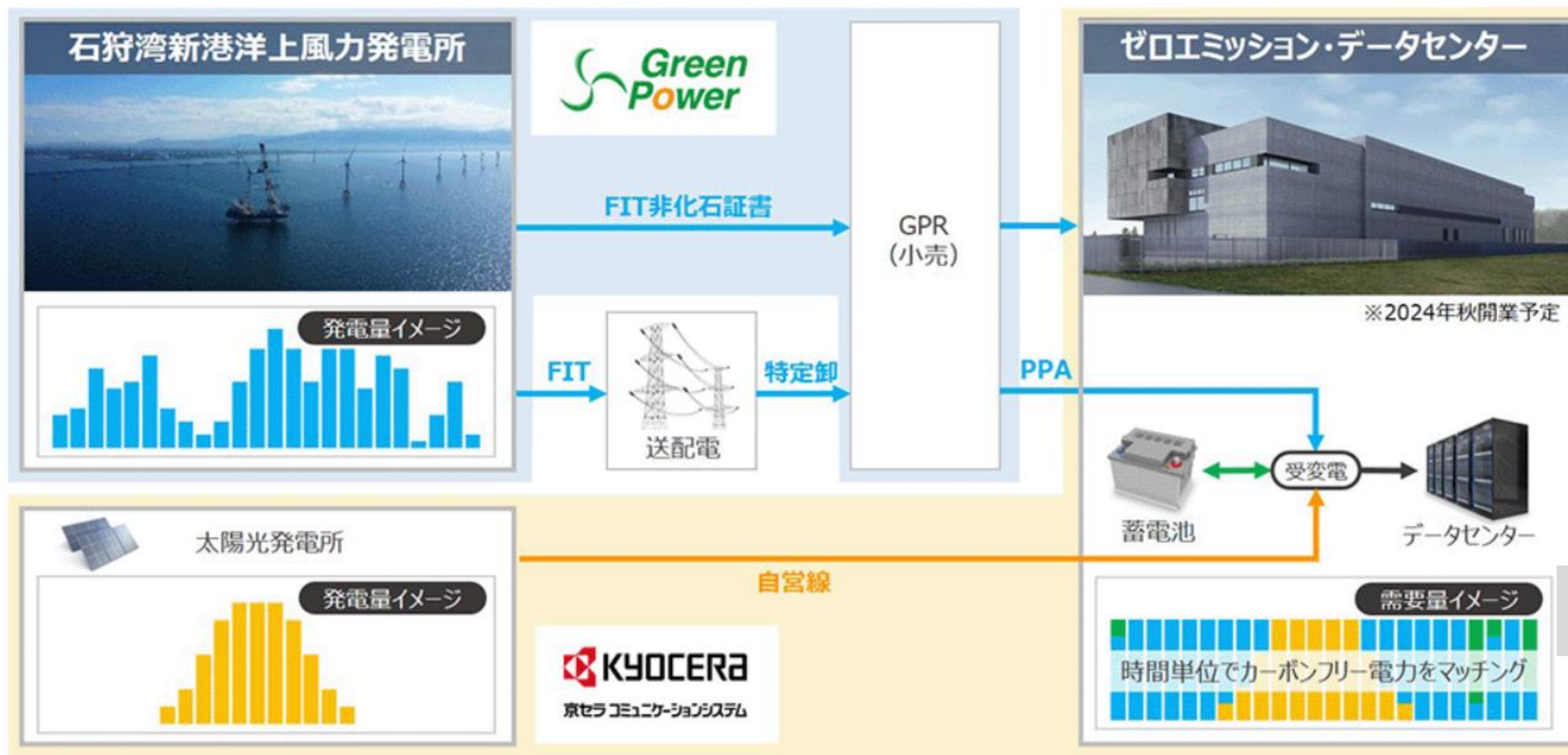
京セラコミュニケーションシステム

- ✓ 2024年10月1日 開業
- ✓ エネルギー地産地消型モデルにより再エネ100%で運営するゼロエミッション・データセンターを実現



「REゾーン」構想

再エネ地産地消事業モデルのスキーム（イメージ）



京セラコミュニケーションシステム株式会社ホームページより抜粋 (<https://www.kccs.co.jp/>)

「REゾーン」構想

合同会社石狩再エネデータセンター第1号

- ✓ 東急不動産、フラワーコミュニケーションズなどによる出資のDC。2026年 営業開始予定（建設中）
- ✓ データセンターの地方分散を担い、再エネ活用やレジリエンスの強化に寄与
- ✓ 地域価値創造型・地域貢献型データセンターの実現へ



「REゾーン」構想

合同会社石狩再エネデータセンター第1号

- ✓ 東急不動産、フラワーコミュニケーションズなどによる出資のDC。2026年 営業開始予定（建設中）
- ✓ データセンターの地方分散を担い、再エネ活用やレジリエンスの強化に寄与
- ✓ 地域価値創造型・地域貢献型データセンターの実現へ

石狩市と東急不動産による 「再エネ利用による持続可能なまちづくりに係る協定書」

- ✓ 石狩市が掲げる「脱炭素先行地域」の実現に向けた各種事業検討・導入
- ✓ 太陽光発電の導入と再エネ電力・非化石価値などの活用検討
- ✓ 特定送配電などの共同検討
- ✓ 再エネ利用型まちづくりのためのエネルギーマネジメント機能及びエリアマネジメントの構築検討
- ✓ 石狩市による非化石価値取扱い事業・電力卸事業・電力小売事業・交通関連事業などの共同検討
- ✓ 両者が参画予定の共同事業体の検討・設立
- ✓ 脱炭素先行地域及びゼロカーボンシティの実現などに向けたまちづくり全般に関する事業の助言



合同会社石狩再エネデータセンター第1号

- ✓ データセンターの敷地内外に計5.6MWの太陽光発電設備を設置する。
- ✓ 実証的に垂直型と追尾型を設けており、施設への給電のほか、発電のデータも収集する。
- ✓ 同じ敷地内にさまざまな太陽光発電設備を設置するのは全国的にも珍しい。
➡子どもたちの環境学習にも活用へ
- ✓ SHARPとEPC契約しており、納品と施工を担当している。



「REゾーン」構想

合同会社石狩再エネデータセンター第1号

- ✓ 最大60°まで傾き、太陽の向きに合わせて東西に追従する。
- ✓ 積雪寒冷地でも発電できるよう、傾きを活用して雪下ろしができるほか、架台を高く設定している。



取り組み

地域DX × データセンターの需要創出

石狩市の課題感

- ✓ さらなるデータセンター集積に向け、市内に集積するテナント型データセンターの需要を創出する必要がある。
- ✓ 人口減少、少子高齢化、頻発する災害など、多様化する地域課題を解決しなければならない。

データセンターを活用する取り組み

- ✓ 石狩市内のデータセンターを活用して、地域課題を解決するソリューションを提供する企業を支援する。

データセンターがあるマチに暮らす
“価値”を市民に提供

令和6年度地域イノベーション連携石狩モデル事業

概要

スタートアップなどの起業者や企業・団体への支援事業。石狩市が抱える少子高齢化、担い手不足、気候変動などの課題に関連した実証実験などを行う企業を選定し、サポートする。

取り組み

- ✓ 市内企業・団体とのリサーチ合宿で事業内容をブラッシュアップ
- ✓ 実証実験費用の支援（最大70万円）

採択結果

- ① 株式会社JOYCLE
ごみを資源に変える小型プラントの設置と効果測定
- ② エレックス工業株式会社
マイクロ波計測技術を用いた不審船検知システム構築
- ③ 幸海ヒーローズ
昆布養殖によるブルーカーボン事業

事業の目標

地域課題の解決

- ◆ 少子高齢化
- ◆ 人口減少
- ◆ 担い手不足

新産業の振興

- ◆ 関係・交流人口増
- ◆ データ需要の創出
- ◆ 地域産業への刺激

事業に市内DCを活用

一次産業の課題

漁業

- ✓ 海水温の上昇
- ✓ 勘・経験が必要
- ✓ 陸での手作業

農業

- ✓ 気温の上昇
- ✓ 鳥獣被害
- ✓ 手作業の仕分け

林業

- ✓ 野生動物による苗木への被害
- ✓ 植林人材の不足
- ✓ 材の分別などの手作業

さらなる再エネ活用×市民福祉の向上へ

2010年代～

2020年代前半～

2020年代後半～

2030年代～

再エネ電源の集積

データセンター集積

地域DXの推進

さらなる利便性向上

地域の動き

地域へのメリット

- ✓ 国内の**脱炭素化**への貢献
- ✓ 電源開発による**交流人口増**
- ✓ 完成した**電源による** **税収**（市の自主財源確保）

- ✓ 地域内の**デジタル産業**の振興
- ✓ 地域産**再エネの域外** **流出抑制**
- ✓ 完成した**施設による** **税収**（市の自主財源確保）

- ✓ **一次産業の持続可能性**の向上
- ✓ 市民の**利便性**向上
- ✓ テナント型データセンターの**需要喚起による施設集積の可能性**向上

- ✓ 石狩市沖での**大規模洋上風力発電所**開発
- ✓ 地域で生まれる膨大な**再エネを活用した公共交通**課題の解決
- ✓ **水素利活用**による産業全体の脱炭素化



再エネ“地産地活”による3者の好循環

市民

行政

企業

- ✓ 産業振興
- ✓ 交流・関係人口増
- ✓ 自主財源確保

- ✓ 社会資本/福祉サービスの維持による安全・安心の生活
- ✓ 就労先の選択肢増加
- ✓ 地域DXによる生活利便性向上

- ✓ 再エネ活用による企業価値の向上
- ✓ 「課題先進地」でのソリューション開発・実装

地産地活の推進

脱炭素の取組を通じて
三方よしのまちづくりを実践





つのステップで、
方よしのまちづくりを

お問い合わせ先

石狩市 企画政策部 企業連携推進課

TEL : 0133-72-3158

E-mail : kouwank@city.ishikari.hokkaido.jp

